

# 自ら学び、豊かな人間性を備えた生徒の育成

～共に支え合い、社会をたくましく生きぬくために～

武生第三中学校

本校では、研究主題として「自ら学び、豊かな人間性を備えた生徒の育成」を目標に、スクールプランの重点目標とその具体的な取組みの中から、本年度は次にあげる4つを校内研究の柱としました。

## 主体的で対話的な授業研究

・生徒主体の活動を取り入れた授業の推進

## 道徳教育研究

・特別の教科道徳実施にむけた道徳教育の充実

## 福祉教育研究

・福祉教育とボランティア活動の充実

## 部活動研究

・部活動運営と競技力の向上

## 1. 主体的で対話的な授業研究

本校では「生徒自らが主体的に考え、話し合い、発表し合いながら学び合う」授業の実践に継続的に取り組んできました。全ての授業の中でできるだけ多く「話し合い」、「発表」、「生徒の考える時間」を取り入れ、対話的なやりとりの中から、主体性、思考力、表現力を養うように努めてきました。その成果で授業の中で生き生きと自分の意見を述べることのできる生徒の姿が目立つようになってきています。

また、昨年までに引き続き、5～6人の教員で構成した指導力向上PT（プロジェクトチーム）を中心に、年間数回の授業参観週間を利用してお互いの授業を参観し、意見交換を行ったり、職員会議後のPT会議を利用して、授業の実践について報告したり、問題点を協議したりして授業改善に努めました。



授業での話し合い活動



タブレットの利用（体育）



PT会議

## 2. 道徳教育研究

いよいよ来年度より「特別の教科道徳」となる道徳の授業研究にも力を入れています。毎年、各学期ごとに道徳の校内研究授業を行い、研究会やPT会議では授業研究の他、道徳の「評価」についての校内研修も行いました。

道徳教育推進教師を中心に研究会での話し合いの内容をまとめて資料として配布したり、家庭に向けても道徳通信を発信したりして全校体制で道徳に取り組んでいます。

また道徳の時間の確保や、学年が協力して取り組んでいくための体制づくりなどについても研究を進めています。



P T会議（道徳）



道徳研究授業（2年）



道徳研究授業（1年）

### 3. 福祉教育研究

今年は村国山に熊が出没したという情報が入り、地域の方々と協力して例年行っている『地域美化ボランティア』は残念ながら中止になってしまいました。

11月3日の『菊花マラソンボランティア』には生徒、保護者、教員そしてボランティアの方々を含めると200名近くの参加者がありました。生徒数の減少や、3年生が受験期であるため、今年は募集をやや縮小しましたが、進んで参加して下さった皆さんのおかげで「伴走ボランティア」、「運営ボランティア」を行い、大会を支え無事成功に導きました。

また、福祉委員会が中心となった『チョボラ』（昼休みに行うちょっとしたボランティア）、や地域のお年寄りと交流する悠々サロンへの参加など、すっかり本校の一番の特徴となった、ボランティアが生徒の意識の中に定着しています。



菊花マラソンボランティア

### 4. 部活動研究

今年から、研究部の中に部活動研究部も立ち上げました。部員数の減少に加え、活動時間の縮小の中で、部活動の適正な運営と強化を、部活動を通じた健全な生徒の育成等を研究しました。

部活動顧問会議に加え、PT会議でも部活動運営について意見を出し合ったり、キャプテン会議で情報提供や意見交換を行ったりした他、「部活動通信」を年数回発行して、保護者の方々にも部活動に対する理解と協力が得られるよう努めました。

また3学期には屋内を利用して、運動部全員での合同トレーニングも行い、『チーム三中』一丸となって来年度にむけて部活動を盛り上げていこうという気運が高まりました。



部活動合同トレーニング